

市勢の概要

1 はじめに

瀬戸内の温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、また、中四国地域の交通拠点に位置する本市は、明治22年6月の市制施行により、旧岡山藩城下町を中心に面積5.77k㎡、人口47,564人で発足した。

平成8年4月に中核市に移行し、平成17年3月には御津町・灘崎町との合併、さらに平成19年1月には隣接する建部町・瀬戸町との合併により、新「岡山市」が誕生。人口70万人を擁する中四国屈指の都市として、着実に発展を続けている。

21世紀を迎え、本格的な少子高齢化や長引く景気の低迷等、社会経済情勢の変化は著しく、今まさに地方分権推進の流れの中で、市民自治の原点に立ち返り、新たな課題に的確に対応しながら独自性・創造性を一層発揮していくことが求められている。

平成21年4月、全国で18番目の政令指定都市に移行した。本市は、交通の結節点という地の利、恵まれた自然、住環境、全国に誇る保健・福祉・医療、教育文化などの蓄積を生かしたまちづくりを進め、広い市域の一層の発展を支える情報通信基盤等を整備し、市民との協働によるまちづくりにより、人々の幸せに貢献する都市を創造していく。

教育に関しては、平成19年4月に「岡山市市民協働による自立する子どもの育成を推進する条例」(愛称：岡山っ子育成条例)を施行し、家庭・学校園・地域社会・事業者及び行政が協働して自立する子どもの育成の推進に向けて取り組んでいる。

子どもたちを取り巻く様々な環境の変化や課題への対応、岡山市の総合計画である「第六次岡山市総合計画」の改訂等に伴い、平成25年に策定した岡山市教育振興基本計画を見直すとともに、新たに平成29年3月に「第2期岡山市教育振興基本計画」を策定し、教育行政のより一層の充実を図っている。

また、平成27年度に教育課題の解決に向け、市長と教育委員会の連携を深めた取組を行うため設置した総合教育会議では、岡山市の教育の現状と課題、目指す方向性等について協議を重ね、平成29年2月に、岡山市教育大綱を策定した。

2 岡山市の地勢

岡山市は面積789.95k㎡という広域の都市である。

地形的には、旭川と吉井川が瀬戸内海に注ぐ岡山平野の中央に位置し、北部は吉備高原に連なる山並みが、南部は地味豊かな平野が広がっている。水と緑あふれる豊かな自然環境と温暖で晴れの多い気候や自然災害の少なさとが相まって、美しさと暮らしやすさを兼ね備えた都市である。

3 人口・世帯数の推移

(各年12月末現在、平成29年は3月末現在)

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
世帯数	299,162	308,003	310,821	314,116	317,675	320,974	321,447
人口	702,052	703,674	704,572	705,952	707,615	708,652	707,625



市長 大森 雅夫